

世界の IVSA

私たち「IVSA-J」の「J」は「Japan」のこと。
わざわざ「J」をくっつけるなら「IVSA」という団体があるの？
私たちが世界とつながる意義を考えてみます。

IVSA は 1951 年設立の歴史ある団体。本部はデンマークにあります。
全世界に、本部・支部合わせて 47 ヶ国 68 団体が IVSA として認可を受けて活動しています。
IVSA-J もそのうちのひとつなのです。

今年で 63 年目を迎える IVSA。

その初めは、獣医学生の可能性と熱意によって獣医学の技術、教育、知識を国際的に活かし、世界中の動物と人間の利益を追求するために立ち上げられました。

現在も、定期的な会議やシンポジウム、国際交流プログラムやニュースレターの配信など、活発に活動を続けています。

また、IVSA の中には社会と獣医師の関係を深く突き詰める委員会が発足しています。

Animal Welfare(動物福祉について)、SCOH(動物と人間の共存について)、SCoMTE(獣医学教育の発展について)、Strategic Planning(IVSA の将来について)といった、獣医学の未来を見据えた活動を行う委員会が多く設けられているのです。

今回は IVSA の支部としてアメリカで活動する SAVMA を取り上げます。

SAVMA とは、獣医師のニーズを踏まえて獣医学生の教育を考える団体である AVMA の学生支部協会のことです。「農業、公衆衛生との関係を含む、獣医学の科学と技術を発展させる」という AVMA の活動目的を受け継ぎ、1969 年に生まれました。

SAVMA の会員は、獣医関係の求人情報や AVMA とのオンラインディスカッションを行う機会を得ることなどができ、毎年教育シンポジウムなども開催されています。

アメリカ以外の獣医学生でも、準会員になることができるそうですよ！

IVSA として活動している国の数が、私たちの目指す「獣医」という仕事の国際性を示しています。

臨床獣医師から公衆衛生などの研究職まで、多岐に渡る獣医としての仕事。各国が独自に経験や研究を重ねていくのでは間に合いません。

私たちが情報やアイデアを共有、協力しお互いの発展に切磋琢磨していく時代が訪れているのです。

IVSA-J の活動に参加して、海外とたくさんのつながりを作っていけると良いですね！

日本大学 2 年 高橋みずき